



# ラブ・ローフ募金による 2013年度 活動報告

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

World Vision

この子を救う。未来を救う。

■募金件数: 278件 ■募金総額: 2,907,440円 ■対象期間: 2012年10月1日～2013年9月30日

**皆さまからのラブ・ローフ募金により、内戦、災害や貧困により栄養不良にある子どもたちや人々の状況を改善することができました。**

## 南スーダンの子どもたちのために

### 新しい国、南スーダンの人々へ水・衛生支援を行いました

南スーダンでは2011年7月の独立後、内戦中に故国を離れていた30万人以上の人々が帰ってきましたが、内戦により土地は荒廃し、470万人が食糧を確保するすべをなくしました。さらに、安全な水を利用できる人々も限られていました。

北部のワラップ州など4州で、深刻な栄養不良にある子どもたちや授乳中のお母さんや妊娠中の女性などを対象に、食糧配布を行いました。また、学校給食を実施することで、子どもたちへの教育の継続にも貢献しました。

さらに、衛生環境の改善のために、とくに小学校が多い地域にトイレを設置し、手を洗うこと、川の水を直接使わないことなど、基本的な衛生知識の啓発を行いました。

活動は、2013年12月末に起こった武力衝突により現在、休止していますが、状況の変化を見据え、支援を再開する予定です。



写真: 南スーダンの子どもたちと駐在中の國吉スタッフ

## ソマリア

### 支援を受ける人々の積極的な参加により食糧支援を行いました

ソマリアでは30年以上にわたる内戦と、少雨による農作物の不作のため、約234万人が食糧不足となり、そのうち約23万6千人が急性栄養不良に陥りました。とくに5歳未満の子どもたち4万5千人が深刻な状況です。

ソマリランド、プントランドにおいて、栄養不良の5歳未満の子どもや授乳中のお母さん、妊娠中の女性約4,400人を対象に栄養価の高い食糧を支援しました。スタッフや地方政府職員、研修を受けた人々が、乳幼児の健康を定期的にチェックし、栄養状態の改善に貢献しています。また栄養不良の乳幼児が治療を受けられるように、母子保健センターとの連携を確立しました。



栄養不良から回復したサイタンちゃん

### 栄養改善支援により回復した、少女サイタンちゃんのお話(ソマリア)

干ばつと紛争の影響下にあるゴールドゴブで暮らす、生後10カ月の少女サイタンちゃんは、ワールド・ビジョンの運営する栄養改善センターに連れてこられたとき、体重は5キロしかなく、栄養失調と診断されました。

すぐに治療が開始され、栄養強化された食品が与えられました。3週間後、健康状態は好転、3カ月後治療を終えました。お母さんのイクランさんは、「とても貧しく、子どもたちを治療するお金もなく、食べ物も不足する日々が続きました」と話してくれました。

ゴールドゴブでのサイタンちゃんや他の子どもたちへの支援の成果は、子どもたちの栄養不良改善に希望をもたらしました。

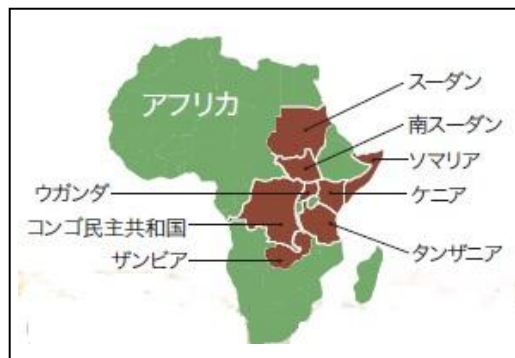
## コンゴ民主共和国

### 内戦の影響により苦しむ子どもたちや人々に、食糧支援を行いました

紛争が続く東部地域では、2012年10月に約14万人の国内避難民が発生しました。避難生活では食糧確保が困難で、食糧不足は深刻となり、多くの子どもたちが栄養不良に陥りました。

東部の南キブ州と北キブ州で、避難先から帰還した人々や国内避難民、またその受け入れる地域で暮らす住民などを対象に、食糧配布を行いました。2012年10月以降の国内避難民の増加により、急きょ食糧配布の対象者を約4万人から12万人に増やし、支援を行いました。

また、子どもたちの栄養状態を良くし、勉強を継続させることを目的に、小学生約14万5千人、教師約3,200人、また調理人約1,500人を対象に、学校給食の支援を実施しました。食糧倉庫の管理や、調理用の燃料の調達などは、教員、保護者、そして生徒が主体的に行っています。



学校給食の支援を受けるコンゴの子どもたち

### そのほかのアフリカ諸国での支援活動

次のような国でも、支援活動を行うことができました。

**ウガンダ**／子どもたちの34%が栄養不良に苦しんでいるカラモジャ地区で、深刻な栄養不良にある人々、障がい者、高齢者など立場の弱い人々約4万5千人に食糧配布を行いました。

**タンザニア**／内戦などの影響で隣国から逃れてきた難民約10万人を対象に食糧配布を行いました。

スーダン、ウガンダ、ザンビアなどでも、特に食糧不足に苦しむ人々への支援を行いました。

## バングラデシュ

### お母さんと子どもの栄養改善を通して、子ども特に女の子の健やかな成長を支援しています

かつて世界で最も貧しい国といわれていたバングラデシュは、近年目覚ましい経済成長を遂げる一方、貧困にある地域では今でも慢性的な食糧不足や幼い子どもたちの栄養不良が深刻です。また、女性の立場が弱いバングラデシュでは、男の子よりも女の子のほうが発育不全に陥りやすく、思春期の女の子や妊娠中の女性、ひいては新生児や母親の健康に大きな影響を及ぼしています。

ワールド・ビジョン・ジャパンは地元政府や現地NGOと協力し、食糧不足の影響を受けている人々とその家族を対象に、子どもの健康状態の継続的なチェックや、生計向上の支援などを通じた栄養改善の指導や啓発を行っています。



子どもたちの成長記録を手にするボランティア・スタッフ。毎日の健診の結果が記録されています

※2013年度ラブ・ローフ募金は、2013年度クリスマス募金と併せて、上記の支援活動に役立たせていただきました。

### ■お問い合わせ、 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

募金箱のご請求は

〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー3F

フリーダイヤル 0120-465-009 ※受付時間 平日 9:30~19:00 FAX03-5334-5359

Email: [dservice@worldvision.or.jp](mailto:dservice@worldvision.or.jp)

募金箱は、ホームページからもご請求いただけます

または <http://www.worldvision.jp>